

IM-31 電動マイクロインジェクター、その実力は

IM-31 はインジェクション・電気生理の両分野にお使いいただけますように開発されました。IM-300 にくらべて低コストながら、特徴ある機能を搭載し、どちらの分野でも活躍できる実力の持ち主です。



今回は IM-31 の仕様を前モデル(IM-30)と比較しながら各ポイントをご紹介します。

各種機能	前モデル (IM-30)	IM-31
圧力表示機能	表示機能なし 調整もダイヤル式の為、 目安程度の調整のみ可能	表示パネル搭載により数値を表示できる為、 再現性が向上。
噴出時間設定機能	ダイヤル式の設定の為、 設定は目安程度。	噴出させる時間を 10ms~99.99s まで 10 ミリ 秒単位で設定可能
噴出回数設定機能	設定不可	噴出回数を 1~99 回まで設定可能
待機時間設定機能	設定不可	動作を繰り返し行う際のインターバル時間を 10ms~99.99s まで 10 ミリ秒単位で設定可能
遠隔操作接続ポート	接続不可	外部信号入力端子により、外部制御が可能
ハンドル		構造を変更し、操作性が向上。

■電気生理分野において■

電気生理分野のお客様には、待機時間設定機能や遠隔操作接続ポートが搭載されたことにより、細胞への薬液投与・噴きつけの用途で、定期的な刺激作業においてお使いいただけるようになりました。

■マイクロインジェクション分野において■

マイクロインジェクション分野のお客様には、様々な研究でご使用いただけます。

- ・線虫(C エレガンス)への DNA/RNA マイクロインジェクション
- ・DNA/RNA および GFP(蛍光色素など) マイクロインジェクション
(ゼノパス・ゼブラフィッシュ・めだか・ショウジョウバエ・ミジンコなどの卵などへの DNA/RNA マイクロインジェクション)

* 高度な再現性や反復作業を必要とする実験に向いています。

■その他の機能を使いたい方には■

IM-31 はインジェクション機能のみが搭載されております。
HOLD(保持)機能・FILL(充填)機能及び、SEQUENCE 機能
(プログラミング機能)等をご使用になりたい場合には IM-300 を
お勧め致します。(使い方については WebNews No.20, 21 をご参照下さい)



【ここで豆知識】

電動インジェクターの入力圧の記載は最大値です。記載以上の入力圧でご使用いただくと故障の原因につながりますので
ご注意ください。(500kpa 以上は入力しないで下さい)

また、入力圧と出力圧に差がある場合、その差の圧力は外に排出される設計になっています。
入力圧を出力圧に近い値で設定することで圧力源を効率よく消費することができます。

ナリシゲカスタマーサポートセンター

TEL: (+81) 03-3308-8232

E-MAIL: sales@narishige.co.jp

URL: <http://narishige-group.com/>